

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公表番号】特表2008-509791(P2008-509791A)

【公表日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-013

【出願番号】特願2007-527918(P2007-527918)

【国際特許分類】

A 6 1 N 5/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 5/06 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月1日(2008.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光を発するための発光体を備え、発光体は1つまたは複数の光ファイバの層を含み、光ファイバが発光体の少なくとも一方の端部から延伸する端部分を有し、端部分が互いに強固に固定されており、端部分に光の焦点を合わせ、発光のために発光体に光を伝送するための少なくとも1つの発光ダイオード(LED)を含む光源を備え、

前記少なくとも1つのLEDはハウジング内にあり、かつハウジング内の少なくとも1つのLEDにより発生する過剰な熱を分散させるために、ハウジングの背面に付着されるヒートシンクに取り付けられる、患者に光線療法による治療を施すための光線治療装置。

【請求項2】

ハウジング内の少なくとも1つのLEDにより発生する過剰な熱を分散させるために、ハウジングから外方にヒートシンクから突出するフィンをさらに備える、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

光ファイバが、発光体の両端から延伸する端部分を有し、これが同じ1つまたは複数の光源を使用して、発光体の両端を照らすために混合される、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

発光体は幅が厚さよりも大きく、半透明または透明な保護カバーによって囲まれる、請求項1に記載の装置。

【請求項5】

端部分に光の焦点を合わせるための複数のLEDがあり、複数のLEDのうち少なくとも1つの光出力は青色帯域を有し、少なくとも別の1つのLEDの光出力は、青色帯域と選択的に混合される別の色帯域を有する、請求項1に記載の装置。

【請求項6】

ハウジング内に複数のLEDと、2つ以上のLEDに近接し、2つ以上のLEDからの光の焦点を端部分に合わせるためにハウジング内に単一の多面レンズとがある、請求項1に記載の装置。

【請求項7】

発光体の異なる区分の端部分が1つまたは複数のグループにまとめられ、発光体の異なるセグメントの端部分のグループが異なるLEDにより照らされ、発光体のいずれかのま

たは全ての区分を選択的に照らすため、任意の数のLEDを選択的に照らすための手段をさらに備える、請求項1に記載の装置。

【請求項8】

LEDからの光出力を実質的に一定に保つために、LEDからの光出力の低下に応じてLEDへの入力電圧を増加させる手段をさらに備える、請求項1に記載の装置。

【請求項9】

LEDへの入力電圧量を増加させる手段が、LEDからの光出力に比例する光源からの迷光を検知する光電セルと、LEDからの光出力が低下するとLEDへの入力電圧を増加させる回路とを備える、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

LEDが古くなるとLEDへの入力電圧を増加させるために使用される、LED平均寿命曲線に基づき予めプログラムされる出力曲線をさらに備える、請求項1に記載の装置。

【請求項11】

ハウジング内に複数のLEDがあり、複数のLEDのうち少なくともいくつかは、端部分に焦点が合わせられる光の帯域が異なる、請求項1に記載の装置。

【請求項12】

光を発するための発光体を備え、発光体は1つまたは複数の光ファイバの層を含み、光ファイバが発光体の少なくとも一方の端部から延伸する端部分を有し、端部分が互いに強固に固定されており、端部分に光の焦点を合わせ、発光のために発光体へ光を伝送するための複数の発光ダイオード(LED)を備え、複数のLEDのうち少なくとも1つの光出力は青色帯域を有し、少なくとも別の1つのLEDの光出力は、青色帯域と選択的に混合される別の色帯域を有する、患者に光線治療による治療を施すための光線治療装置。